

一般質問

防災対策及び介護予防対策は万全か？

松井 岑雄 議員

問 新町発足後も、未だに郡内の一斉放送が出来ない未整備状態のままである。緊急時に町長の指揮命令が伝達出来ず、町民の生命、財産が守れない。総合的防災体制の確立を求めるが、防災無線の設置状況は？

答 （町長）屋外スピーカーが、大島地区45カ所、橘地区19カ所。未整備の久賀、東和地区には、90カ所の設置計画がある。橘地区で全戸設置の屋内スピーカーも、平成22年度までに全町実施予定である。

問 避難所における各部の対応は？

答 （町長）現在127カ所の避難所を旧町から引き継いでいるが、役場出張所のある場所では町職員が、それ以外は自治会で対応している。

問 寝具・非常食の準備状況は？



答 （町長）毛布252枚が4総合支所に備蓄している。貸出は各支所へ申し込む。非常食はカンパンの用意があるが、基本的には避難者自身で準備するよう指導。

問 10月1日より、介護保険施設の居住費と食費が自己負担となる。負担増を余儀なくされる町民に対し、町独自の対策として温泉施設の利用の取り組みはないか。

答 （町長）竜崎温泉の増改築工事が、平成18年3月に完了見込み。温泉プールの歩行浴を利用できる。

問 ゲートボール、グラウンドゴルフ施設は？

答 （町長）介護予防事業として、町老人クラブ連合会に委託して諸事業を実施。健康増進課が連携して事業、施設の充実を計る。



避難場所看板

通学路の外灯設置計画は？

木村 潔 議員

問 町内の国道及び県道環状線は小中高校生の通学路と重複している箇所が多いが、その外灯設置状況において相当の地域差がある。場所によっては外灯の光が届かない、全くの暗がりが多くある。これから日没が早くなるが実態調査及び今後の設置計画があるのか？

答 （建設課長）町内の国道・県道・主要町道には、スポンサー外灯を含め691本の街路灯（別表参照）が設置されている。



県における設置基準箇所は、現在全て満たされており、県による新規設置計画の予定はない。



従って今後の新規設置は、町で対応するが、合併前の旧各町ごとの設置基準に大きな差があるので、新町での設置基準を策定し、整備方針を明確にした上で設置を検討していく。

問 外灯には、蛍光灯・水銀灯及びナトリウム灯の3種類がある。ナトリウム灯の光力は他の2種に比べ相当弱い、電力消費に係る経費差は？

答 （建設課長）蛍光灯20Wで235円／月、ナトリウム灯70Wで515円／月、水銀灯200Wで793円／月。

現在の街路灯設置状況

	久賀地区	大島地区	橘地区	東和地区
本数	80本	394本	198本	19本